

2013年12月新日本語能力試験

N1

言語知識（文字・語彙・文法）・読解・聴解

Language Knowledge(Vocabulary/Grammar).Reading.Listening

注 意

1. 試験が始まるまで、この問題用紙を開けないでください。
2. この問題用紙を持って帰ることはできません。
3. 受験番号と名前を別紙に、受験票と同じように書いてください。
4. 問題には回答番号の1、2、3、…が付いています。

解答は、解答用紙にある同じ番号の所にマークしてください。

5. これは最終バージョン（perfect）ではありません。

欠点がある場合はご容赦ください。



本内容为尚岸日语整理收集
关注尚岸日语免费更新题目

下载尚岸日语APP免费体验

在线答题功能，查看独家详细解析，阅读中文翻译，听力中文翻译，逐句练习听力

受験番号 Examinee Registr

名 前 Name

2013年12月日本語能力試験N1

第一部分 言語知識（文字、語彙、文法）

問題1 ____の言葉の読み方として最もよいものを、1 2 3 4 から一つ選びなさい。(1*6)

- 1、関係者から話を聞いて、ようやく現状が把握できた。
1) ばおく 2) はおく 3) ばあく 4) はあく
- 2、社長の発言に憤りを感じる。
1) あせり 2) こだわり 3) いきどおり 4) いかり
- 3、その話の趣旨がよく分からなかった。
1) しゅし 2) しゅじ 3) しゅうし 4) しゅうじ
- 4、兄は大学で日夜研究に励んでいる。
1) にちよ 2) じつよ 3) にちや 4) じつや
- 5、川田さんは最後まで自分の主張を貫いた。
1) つらぬいた 2) つらむいた 3) すらぬいた 4) すらむいた
- 6、この30年で、この国の貧富の差は縮まってきている。
1) ひんふ 2) ひんぷ 3) びんふ 4) びんぷ

問題2 ()に入れるのに最もよいものを、1 2 3 4 から一つ選びなさい。(1*7)

- 7、問題の再発防止のために、何度も会議を開いて対策を()。
1) 培った 2) 築いた 3) 練った 4) 磨いた
- 8、私はスポーツなら何でも好きだが、()サッカーが大好きだ。
1) いよいよ 2) まさしく 3) いっそう 4) とりわけ
- 9、職場の環境に満足していたので、その当時は転職など全く()になかった。
1) 念頭 2) 本心 3) 念願 4) 内心
- 10、妹は今日が初めてのデートらしく、朝から()して落ち着かない様子だ。
1) ぐらぐら 2) そわそわ 3) ぶらぶら 4) めそめそ
- 11、社長は、会社の将来を()人材の育成に力を入れている。
1) になう 2) いたわる 3) やしなう 4) かかげる
- 12、パーティーでは林さんが料理を作って、みんなにその()を披露してくれた。
1) そぶり 2) しわざ 3) 腕前 4) 手間
- 13、自分の考えに自信がなくて発言するのを()いるうちに、議論が先に進んでしまった。
1) 遠ざけて 2) ためらって 3) 案じて 4) よけて

問題3 ____の言葉に意味が最も近いものを、1 2 3 4 から一つ選びなさい。(1*6)

- 14、彼の予測はことごとく外れた。
1) すべて 2) わずかに 3) 思ったとおり 4) 残念ながら
- 15、やっと雑踏を抜けた。
1) 人込み 2) 渋滞 3) 混乱 4) 暗やみ
- 16、台風発生のメカニズムについて説明した。
1) 可能性 2) きっかけ 3) 危険性 4) しくみ

17、この記述内容が正しいと言えるだけの裏づけがあるのだろうか。

- 1) 確信 2) 証拠 3) 支持 4) 基準

18、もう彼に本当のことを伝えるすべがない。

- 1) 必要 2) 時間 3) 方法 4) 理由

19、せかしてしまってすみません。

- 1) 驚かせて 2) 急がせて 3) 待たせて 4) 困らせて

問題4 次の言葉の使い方として最もよいものを、1 2 3 4 から一つ選びなさい。(2*6)

20、処置

- 1) あした上司に報告できるように、今日中に書類を処置しておこう。
2) 来月引っ越すので、使わない家具を全部処置しようと思う。
3) 数学は苦手だったが、先生の特別な処置でよく分かるようになった。
4) 医者 of 適切な処置のおかげで、痛みはすぐに治まった。

21、拍子

- 1) 重いものを入れすぎて、持ち上げた拍子に紙袋が破れてしまった。
2) 昨日はとても疲れていたので、布団に入った拍子に眠ってしまった。
3) 晩ご飯を作った拍子に、あしたのお弁当も作った。
4) 雨がやんだ拍子に出かけたので、ぬれずに済んだ。

22、口出し

- 1) 今の意見に反論のある人は遠慮せず自由に口出ししてください。
2) 店長は客に上手に口出しして、客の好みをうまく聞き出した。
3) この会社に就職できたのは、山田さんが口出ししてくれたからだ。
4) 上司だからといって部下の私生活にまで口出しするのはよくない。

23、煩雑

- 1) いろいろな書類を書き、いくつもの窓口に持っていくなど、手続きが煩雑だった。
2) 部長と課長は別室で煩雑な話をしているらしく、なかなか戻ってこない。
3) この辺りの道は迷路のように煩雑で分かりにくく、何度来ても間違えてしまう。
4) 都会で一人暮らしを始めたときは、期待と不安で煩雑な気持ちだった。

24、当てはめる

- 1) 給料の金額は、社員一人一人の能力に当てはめて決めてほしいと思っている。
2) 最近天候が不安定で、その日の気温に当てはめて服を選ぶのが大変だ。
3) 少数の事例を一般化して社会全体に当てはめて考えてもいいものだろうか。
4) この店は客の要望にぴったり当てはめて料理を作ってくれるので、評判がいい。

25、打開

- 1) これまでの古い習慣を打開して新しいやり方を取り入れてみよう。
2) 高木刑事は綿密な捜査を怠らず、数々の事件を打開してきた。
3) 彼は超難関と言われる試験を打開し、希望の職に就くことができた。
4) わが社の危機的状況を打開するためには、抜本的な経営の見直しが不可欠だ。

問題5 次の文の()に入れるのに最もよいものを1 2 3 4から一つ選びなさい。(1*10)

26、夏休みに水族館にいったら、時期() 時期だけに親子連れで混雑していた。

- 1) で 2) に 3) は 4) が

27、北川市では、良好な景観形成な計画的() 具体的に進めるために、「北川市景観形成基本方針」を定めています。

- 1) かつ 2) むしろ 3) ついては 4) かえって

28、3000mを超える冬山に、十分な装備もなく単独で登るのは、() 極まりない行為だ。

- 1) 危険 2) 危険の 3) 危険な 4) 危険に

29、景気は徐々に回復してきていると言われるが、私には一時的な現象のように()。

- 1) 思う 2) 思っている 3) 思われる 4) 思わせる

30、新幹線の新型車両が初めて一般に公開される()、鉄道ファンの私としては、見に行かないわけにはいかない。

- 1) にあってか 2) とあっては 3) になっては 4) となっては

31、自分ではそんなに短気ではないと思っているが、友達に()、私はけっこう怒りっぽいらしい。

- 1) 言われれば 2) 言われたら 3) 言わせると 4) 言わせて

32、昨日行ったそば屋は、たくさん人が並んでいたので()、意外にもすぐに席に案内された。

- 1) 待たされたかと思えば 2) 待たされることと思い
3) 待たされるかと思いきや 4) 待たされたことと思うが

33、企画立案というのは苦しい作業だが、自分の案が採用されたときのうれしさ()。

- 1) といったらない 2) にすぎない
3) ほどのことではない 4) ともかぎらない

34、店員「アルバイトの大田さんのことなんですが、仕事中におしゃべりが多くて困っているんです。店長から一言()。」

店長「わかった。後で注意しておくよ。」

- 1) 伺いたいのですが 2) お聞きになるでしょうか
3) 申し上げてもよろしいですか 4) おっしゃってくださいませんか

35、友人からコンサートのチケットをもらったが、仕事で忙しく、行けそうにないので、()と悩んでいる。

- 1) どうなったのか 2) どうしたものか
3) どうなっているか 4) どうしていることか

問題6 次の文の ★ に入る最もよいものを、1 2 3 4 から一つ選びなさい。(1*5)

36、昨今、森林を単に木材の供給源 _____ ★ _____ と捉えることの重要性が広く認識されてきている。

- 1) のみではなく 2) 環境資源 3) として 4) 水や空気を育む

37、西川高校の森キャプテンは、次の対戦相手が優勝候補の北第一高校に決定したことについて、「たとえ _____ ★ _____ やるだけです。」と語った。

- 1) 相手が 2) 精一杯 3) どういう 4) チームだろうと

38、この店のハンバーガーは、値段は多少高めだが、手間が _____ ★ _____ おいしさだ。

- 1) ほかの店の 2) ものとは 3) 比べ物にならない 4) かかっている分

39、田中「明日の食事会、森さんも来るんだよね。私、会うの5年ぶりだよ。」

木村「私は仕事で _____ ★ _____ なるかな。」

- 1) 10年ぶりに 2) 大阪に行ったついでに
3) それっきりだから 4) 一度会って

40、この本を買ったときは、話題の本だから読んでみようか _____ ★ _____ しかなかったが、読み始めから夢中になり、一晩で一氣に読んでしまった。

- 1) 気持ち 2) ぐらい 3) の 4) で

問題7 次の文章を読んで、**41**から**45**の中に入る最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(2*5)

以下は、「人生相談万事OK!」という本に書かれている質問と、それに対する回答である。

Q70 犬が嫌いです

夫の実家は犬の犬好きで家の中で放し飼いにしています。しかし私は犬の犬嫌い。昔、母が「近付くとかまれる」と言っていたこともあります。犬は見抜いているのでしょ。ほかの人にはキューーンと甘えるのに私だけには吠えまくりです。私はこの家の者として失格でしょうか。たかが犬、されど犬。かなりのストレスです。

A70 犬クッキーで手なずける

パブロフの犬という有名な実験がありました。ベルを鳴らして餌、ベルを鳴らして餌を繰り返したら、しまいには犬が、ベルの音を聞いただけで、餌を与えなくてもよだれ(注)を出すようになったというのです。あれを応用します。

ペットショップへ走り、美味しそうな犬用のクッキーを**41**。それを夫の実家に行く時は必ず持参し、ポケットに入れておきます。

42あなたが取るべき態度は、吠えられても、動じないってことです。手を引っ込めたり、叫び声を上げたり、逃げ腰になったりしちゃいけません。犬に足元を見られます。と言って、犬の目をまっすぐ見てはいけません。犬は威嚇されてると思い込むものです。この辺、人間の常識は通じませんから。目を合わせない、それが**43**礼儀作法です。

さて、よく吠えられても動じず、目をそらしつつ、手のひらに犬クッキーを載せて差し出します。犬の歯が当たらないので、指でつまんでやるより怖くないです。あなたは今後、その犬にあったら、必ず、犬クッキーをやることにします。それを繰り返すうちに、犬は、あなた、イコール、クッキーってのを学習し、やがて、**44**でしょう。

以上は、よく吠えるうちの犬に対して、犬嫌いの友人が試みたことです。未だに友人の顔を見ると吠えますが、それはクッキー欲しさの吠え声で、もらえばたちまちおとなしくなります。友人もそれがわかってるので、怯えなくなりました。クッキーをやったら、後は無視します。無理はしません。犬好きがいるように、犬嫌いが**45**。

(伊藤比呂美「人生相談万事OK!」による)

(注) よだれ：つば。口から流れ出る液体

41、

- | | |
|--------------|--------------|
| 1) 買ってきたわけです | 2) 買ってきましょう |
| 3) かってきたはずで | 4) 買ってくるのでしょ |

42、

- 1) だから 2) つまり 3) その上で 4) そのために

43、

- 1) 犬の 2) この犬の 3) その犬の 4) あの犬の

44、

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1) 家の中で飼えるようになる | 2) よだれを流して迎えてくれる |
| 3) クッキーを差し出せるようになる | 4) ベルの音を聞いてすぐ食べてくれる |

45、

- | | |
|----------------|---------------|
| 1) いるのでしょうか | 2) いればよかったんです |
| 3) いたのではないでしょか | 4) いたっていいんです |

第二部分 読解

問題8 次の(1)から(4)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(2*4)

(1)

何かを学ぶということは、もちろん、問題に答える知識や技術を身につけるという意味もあるけれど、それは実は学ぶことの本質ではない。ぼくらは本や学校で、これまでひとが見出してきたさまざまな秩序、筋道を学ぶ。だけど、そうやってさまざまな「型」を学ぶことによって、いままで見えていなかった、あるいはぼんやりとしか見えていなかった「型破り」なものが見えてくるようになる。つまり、学べば学ぶほど、見えてくる問題は増えるというわけだ。

(野矢茂樹『はじめて考えるときのように－「わかる」ための哲学的道案内』による)

46、筆者は、学ぶことの本質とは、どのようなことだと考えているか。

- 1) 「型」を学ぶことで、気づいていなかった問題を認識できるようになること
- 2) 知識や技術を身につけて、さまざまな秩序や筋道が見えるようになること
- 3) 既存の「型」に固執せず、常に「型やぶり」なことに挑むこと
- 4) 他人が見出したことを学ぶだけではなく、自分自身で考えること

(2)

以下は、ある旅館に届いたメールである。

横西旅館
ご担当者様

11月30日に、貴旅館のホームページから宿泊の予約をした者です。

予約ページによりますと、宿泊の可否についてはメールでご連絡いただけるのですが、いまだにメールをいただいております。出発の日時が迫っておりますので、早急にご確認いただけますでしょうか。

予約番号は131130172で、予約した内容は以下の通りです。

宿泊希望日: 2013年12月21～23日 (2泊)

人数: 3名 (大人2名、子ども1名)

部屋数: 1室 (禁煙ルーム)

なお、予約時には夕食の時間は19時にお願いしていましたが、18時に変更してください。

よろしくお願いいたします。

上田真由美

47、このメールが最も伝えたいことは何か。

- 1) 予約が成立しているか知らせてほしい。
- 2) 予約内容に間違いがないか確認してほしい。
- 3) 予約ページに不具合がないか調べてほしい。
- 4) 予約時に希望した夕食時間を遅らせてほしい。

(3)

医者、ナース（注）と患者との間の意味のズレやズレ違いは、患者の身体的症状に対する専門的な医学的認識と、患者自身の意味づけとの間に生まれている。医療関係者の課題の一つは、患者自身の勝手な解釈とそれに基づいた治療行動を再考させて、医学的に求められる治療活動だけに目を向けさせることであろう。

つまり、患者の内面にある認識構造の再構成というむずかしい問題にぶつかるのである。

（梶田正巳『勉強力をつける——認識心理学からの発想』による）

（注）ナース：看護師

48、筆者によると、医療関係者に求められていることは何か。

- 1) 患者の希望を聞いて治療方法を再考すること
- 2) 患者が納得できる医学的な見解を示すこと
- 3) 患者の目を最新の治療に向けさせること
- 4) 患者を医学的な認識に導くこと

(4)

日記とは限りなく私的な記録であり、読者が存在しないどころか、他人には読まれたくない秘密の表現であるともいえる。

ただ一人だけ、奇妙な読者が存在する。いつでも自由に日記を読むことの出来る、日記の筆者である。その読者は筆者とは異なる場に立って、様々な配慮を働かす。万が一日記が盗み読まれたり（注）、死後に他人の目に曝されるような事態が発生した場合、こんなことが書かれているのはまずいのではあるまいか、等々と。しかし、これは限りなく私的な記録である筈の日記にとっては矛盾である。

（黒井千次『図書』2007年2月号による）

（注）盗み読む：他の人の日記や手紙などをこっそり読む

49、矛盾であるとあるが、何が矛盾か。

- 1) 他人に読まれる可能性のある日記に秘密を書き残すこと
- 2) 日記の筆者が他人に読まれることを想定すること
- 3) 日記は筆者しか読まないのに、他人にも読みやすく書くこと
- 4) 日記は私的なものなのに、他人に自由に読まれるかもしれないこと

問題9 次の(1)から(3)の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(2*9)

(1)

十年絵を描いてきて、最近になってようやく筆の止めどころがわかってきたかな、と思います。描きすぎずに筆を置くコツが少しずつわかってきた。

最初のうちは、筆が多くなるものなんです。描きたいという気持ちが強いだけに、まだ足りない、まだ足りないという気になって、どんどん描きだしてしまう。だけど、それを無理してセーブすることはないと思います。やっぱり、①とことん行ききっちゃったほうがいいんですよ、何事も。

たとえば、空腹のときに腹一杯食べて満腹感というものを味わっておかないと、加減というものがわかりません。人間、満腹を知っているから、これはまだ五分(注1)、腹八分といったらこの程度だという加減がわかる。一回とことんやってみることで、抑えることや、行きすぎないことの良さが初めてわかるものですからね。

(中略)

自分が描きたいモチーフそのものと対峙(注2)して、自分の感じたところで筆を進めている分にはいいんですが、客観的にそれを見て、ここが足りない、あそこが足りないと思って描き足してしまうと、止めどころがわからなくなってしまいます。それは、自分がどう見てどう感じたかという気持ちを素直に絵にすることとは違ってくる。②絵を説明してしまうことになる。そうすると、絵がうるさくなります。

客観的な目を持つことも確かに大事なことはあるんですが、見たまま感じたままのストレートな気持ちを解説してはいけないと思うんです。

(片岡鶴太郎『鶴太郎流 墨彩画入門』による)

(注1)五分：全体の50パーセント

(注2)対峙する：向き合う

50、筆者は絵を描き始めたとき、どのように描いていたか。

- 1) 筆の進め方を身につけようと思って描いていた。
- 2) 筆を進めすぎないように心掛けて描いていた。
- 3) 描きたい気持ちを抑えながらも描き足していた。
- 4) 描きたいという感情に任せて描き足していた。

51、①とことん行ききっちゃったほうがいいんですよとあるが、なぜか。

- 1) 描きたい気持ちがどのくらいかがわかるから
- 2) 描きたいものが何なのかがわかるから
- 3) 描きすぎないことの大切さがわかるから
- 4) 描き加えることの楽しさがわかるから

52、②絵を説明してしまうことについて、筆者はどのように考えているか。

- 1) 絵を思いのままに描き足しすぎるので、絵に面白みがなくなる。
- 2) 絵を描きたいという気持ちを抑えるので、表現が素直でなくなる。
- 3) 絵を客観的な視点で描くので、見る人にあまり感動を与えられなくなる。
- 4) 絵を客観的に見て描き足しすぎるので、感じたままの気持ちが表現されなくなる。

(2)

大方の予想に反して、科学が飛躍的な成果をもたらす現場では、誰もが実生活のなかで体験する新鮮な驚きや、たわいのない（注1）思いつきの類いがその起点となっている。むしろ、科学の画期的な発明発見ほど、かぎりなく日常的で具体的なものごとがもとになっているのである。（中略）

しかし、日頃の思いつきや驚きと違って、思いついて終わり、驚いただけ、ということにならないところが、ようするに科学の特徴である。思いつきや驚きは、新しい確かな「ものの見方」へのきっかけでしかなく、科学とはそれらをとことん洗練する創意工夫の営みにほかならない。実は創意工夫こそが、歴史上も有数の科学者たちに見られる、かなり一貫した姿勢なのである。

何かに驚いて、それまでは当然だと思っていたことに、少し違った角度から眼差しをむけてみる。それだけではなく、違った角度から見えてきたことを首尾一貫（注2）させ、確かなものにすると、求めても無駄な望みだと決めつけていたことが、あっさりと実現できることに気づく。新鮮な驚き、ささいな思いつき、そしてちょっとした理解の修正をきっかけに、常識とは少し違った「ものの見方」をしたとき、どこか一面化していた常識そのものがより豊かなものにならないか考えてみる。これが科学を本当に発展させた人々に共通した姿勢である。

（瀬戸一夫『科学的思考とは何だろうかーものづくりの視点から』による）

（注1）たわいのない：ここでは、小さな

（注2）首尾一貫させる：始めから終わりまで一貫しているようにする

53、その起点とあるが、何の起点か。

- 1) 科学における大きな発明や発見
- 2) 日常のなかでの新鮮な発想
- 3) 生活のなかの科学的体験
- 4) 実生活に役立つ科学

54、筆者は、科学における思いつきや驚きを、どのようなものと考えているか。

- 1) 科学的な「ものの見方」の本質を形づくるもの
- 2) 科学の理論を日常的な出来事に関連づけるもの
- 3) いつもとは違う視点を得る契機となるもの
- 4) 創意工夫をする過程で生まれてくるもの

55、科学を発展させた人々に共通している姿勢は何か。

- 1) 思いつきや驚きをそのままにせず、常識とは違う見方をしようとする。
- 2) 思いつきや驚きをこれまでの科学的知識で説明しようとする。
- 3) 発想の転換を通して、独創的な考え方を身につけようとする。
- 4) 発想の転換をすることで、常識的な「ものの見方」を否定しようとする。

(3)

多くの人は、個性の持ち主にあこがれて、できれば見習いたいものだと思いますが、実は一方で「人並み」であることをひそかに求めている。「ひと」からはずれていたり、おくれっていたりすることは、彼らを極度に不安にする。「同じ」思いを抱いていたことを発見することは大きな安心を与えるはずであるから、「同じ」思いの通ずる仲間が見つかったら、すぐにでも群れようとする。①そういう人間の傾向は、別に日本人にだけそなわったものというわけでもなく、ほとんど本能的なものとして、多かれ少なかれ誰もが抱えている要素であるといつてよい。

にもかかわらず凡庸（注1）さは、表向き、なぜこれほど忌み嫌われる（注2）のか。それは、おそらく、人間というものの大多数が凡庸な生を生きるほかなく、自分の未来もまたその限界のなかにあることをうすうす知っているのだが、そのことをそう決めつけられることは、自分の生を希望のない確定的なイメージに塗り込めてしまうことであり、それは②個としての価値を否定されてしまうことにつながると感じられるからである。

生きる意欲が現にあるのに、おまえの未来はこのとおり当たり前のものでしかないと規定されることは、未来に向かうものとしてある「生の意欲」の本質的条件を根こそぎにしてしまう。自らが有限な存在であることを大筋ではわきまえつつ、しかもその範囲内に未知の部分必ずいくらかは残しておく。そこに自らが個であることの確証をかりうじて求めようとするのだ。

（小浜逸郎『この国はなぜ寂しいのかー「ものさし」を失った日本人』による）

（注1）凡庸さ：ここでは、人並み、平凡であること

（注2）忌み嫌う：ひどく嫌う

56、①そういう人間の傾向とあるが、どのような傾向か。

- 1) 個性の持ち主に表面的には感心しつつも、内心ではそれほど認めない。
- 2) 個性を重視し、意識的に自身と似た個性を持つ人としてしか群れようとししない。
- 3) 個性的でありたいと願いながらも、自身と思いが同じ人と群れて安心する。
- 4) 個性的であることを切望し、個性が強い人と集まって安心感を得る。

57、何が②個としての価値を否定されてしまうことにつながるのか。

- 1) 自身の限界を示され、将来に不安を感じる
- 2) 自身の平凡さを思い知らされ、限界を自覚すること
- 3) 自身の平凡さを指摘され、生きる意欲をなくすこと
- 4) 自身の無能さに気づかされ、自己の存在に不安を感じる

58、筆者の考えに合っているのはどれか。

- 1) 人間は自らの可能性を広げ、自身の価値を高める。
- 2) 人間は個であることの確証を得て、自身の価値を高める。
- 3) 人間は自らに希望の余地を残し、生きる意欲を保つ。
- 4) 人間は常に新たな希望を探しながら、生きる意欲を保つ。

問題 10 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(3*4)

音楽に限ったことではないが、芸術、文化などの名で呼ばれるものはどうしても、現実の政治経済や社会生活に関わることがらとは切り離されたものと考えられることが多く、またそうであるがゆえに価値をもつものとされてきたと言った方が良好だろう。近年のように財政状況が悪化するなど、現実生活をめぐる状況が深刻になると、こういうものはしばしば不要不急な「無駄」として切り捨てられそうになる。他方で、荒れた世の中をしばし(注1)忘れるためのオアシスのような場所としての意義が叫ばれるようになったりもするのだが、いずれにしてもその音楽を研究している立場のわれわれはしばしば、「この世知辛い(注2)世の中で、そんなことをやっているとというのはうらやましいことです」などと言われ、①何とも複雑な心境になるのである。

だが、コペルニクス的転回を遂げた(注3)と言っても過言ではない近年の文化研究の進展の中で、政治や社会の話と切り離して文化が論じられるなどということが幻想である、というより、そのような幻想自体、すでに一定の政治的社会的イデオロギーの刻印を帯びた(注4)ものにほかならなかったということが明らかにされてきた。今や、音楽研究者の中にも、政治や社会から切り離された純粋な「音楽そのもの」がどこかに宙(注5)に浮いたような形で存在しているなどと素朴に信じているような人は誰もいないだろう。

音楽研究に関わる人々の意識も変わり、研究の内実も大きく変わってきているにもかかわらず、むしろ、音楽研究の世界の外側にいる人の方が、音楽を「純粋」な形で囲い込みたがっているように思われるのは②皮肉なことだ。社会科学の最先端で議論をしている人が、音楽の話になったとたんに、30年前の音楽研究に戻ったかのような古典的なデータや図式でものを考えていることが明らかになるような場面に、これまで何度か出会ってきた。歴史学者などが中心になって編んだ領域横断的な論集などで、音楽の部分だけはひどく浮世離れした(注6)古めかしい論文が掲載されており、音楽研究の最近の成果と大きく乖離してしまっているようなこともしばしばある。ここ十数年で、音楽研究者の目に映る音楽の世界もずいぶんと変わっているのに、われわれの発信が不足しているために、そのおもしろさを十分に伝え切れていない、そんな気がするのである。

(渡辺裕『音楽は社会を映すー考える耳「再論」』による)

(注1) しばし：しばらく

(注2) 世(せ)知(ち)辛(がら)い：暮らしにくい

(注3) コペルニクス的転回を遂げる：考え方がこれまでと根本的に変わる

(注4) 刻印を帯びる：ここでは、影響を受ける

(注5) 宙：空中

(注6) 浮世離れした：現実と懸け離れた

59、①何とも複雑な心境になるとあるが、なぜか。

- 1) 芸術や文化の価値が現実生活で高く評価されないから
- 2) 芸術や文化と社会生活との関係が希薄になっていくから
- 3) 芸術や文化の研究が現実生活に役立たないと思われるから
- 4) 芸術や文化が社会生活とは懸け離れていると思われるから

60、筆者によると、近年の音楽研究者は音楽をどのようにとらえているか。

- 1) 社会の状況が悪化した時に最も必要とされる。
- 2) 他の芸術や文化と同等には論じられない。
- 3) 現実生活と乖離した純粋なものである。
- 4) 政治や社会に深く関わっている。

61、②皮肉なことだとあるが、何が皮肉なのか。

- 1) 音楽研究者以外の人が、音楽について最先端の議論をしたがっていること
- 2) 音楽研究者以外の人が、音楽を特別なものとしたがっていること
- 3) 音楽研究者以外の人が、音楽を純粋に楽しんでいること
- 4) 音楽研究者以外の人が、音楽をよくわかっていること

62、現在の音楽研究者のあり方について、筆者はどのように述べているか。

- 1) 音楽のもつ普遍的な価値を社会によりわかりやすく伝えることが課題だ。
- 2) 音楽研究の成果をこれまで以上に発信することが求められている。
- 3) 最先端の音楽研究について議論していくことが重要である。
- 4) 音楽に対する意識を変えて新たな研究に取り組むべきだ。

問題11 次のAとBの意見文を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(2*3)

A

近年食品問題への関心が高い。その多くは食品の安全性を不安視する声だ。すでに政府は中立の立場で公正に科学的評価を行う機関を設置し、企業も独自の検査や表示を行うなどの対策を始めた結果、以前より安全性は向上していると言える。

しかし残念ながら、まだ消費者の安心感には結びついていない。今後必要なのは、安全なものは安全だと消費者が正しく理解できることではないだろうか。科学的に安全だと判断された食品が、消費者にも安全だと認知されれば消費者の安心につながる。そのためには、提供する側のわかりやすい説明とともに、消費者側もそれを理解するための科学的知識を備える必要があるだろう。

B

発生した食品事故に対して適切な対策がとられ、科学的に安全が証明された後も、いつまでもその食品の消費回復が見られないということはよくある。消費者が納得しないのである。

(中略)

安全に関しては、絶対安全ということはありません。コストさえ掛ければ技術的に安全度を上げることが可能である。しかも安全度は多くの場合、科学的に数値として明示できる。しかし安心の場合には、示された客観的な事実になんて納得するかどうかは、消費者一人一人の主観によっており、これを説得するのは簡単なことではない。安全を安心に繋げる難しさには、フードシステム（注）に対する消費者の信頼の程度が大きく関係する。消費者と生産者あるいは、政府の間に信頼関係が構築されていれば安全証明がほぼ同時に安心へと繋がる。

(時子山ひろみ『安全で良質な食生活を手に入れるーフードシステム入門』による)

(注) フードシステム：食品が生産者から消費者に届くまでの流れ

63、AとBの認識で共通しているのは何か。

- 1) 食品の安全対策に消費者の意見が反映されていない。
- 2) 食品問題への対策は安全性を考えるだけでは十分ではない。
- 3) 食品の安全性に関して科学的な証明が重視されていない。
- 4) 食品は絶対に安全だと言えなければ消費者は納得しない。

64、AとBは、どうしたら消費者が安心を得られると述べているか。

- 1) AもBも、消費者自身が食の安全により関心を持つことで得られると述べている。
- 2) AもBも、消費者が信頼できる説明を生産者側がすることで得られると述べている。
- 3) Aは消費者が安全性を理解することで得られると述べ、Bは消費者と生産者側が信頼関係を築くことで得られると述べている。
- 4) Aは消費者が科学的知識を身につけることで得られると述べ、Bは生産者側がより精度の高い安全証明をすることで得られると述べている。

問題12 次の文章を読んで、後の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(3*4)

目を見て話す

この秘訣を教えてくれたのは、まだ小さかった頃の娘でした。

「外から帰ったら、手を洗いなさい」

「ごちそうさまを言いなさい」

(中略)

どんなに声に威厳を込めたつもりでも、新聞を読みながらだと、まるでだめ。

「お父さんはこう言っているけど、手を洗うっていうのは、別に大事なことはないんだな」

きちんと目を見ていないと、子どもはたちまちそう判断してしまいます。よそ見をしながら口やかましく繰り返しても、①「ごちそうさま」を言うようにはならないのです。

目を見て話すことは、わかり合い、メッセージを伝え、コミュニケーションをよくする秘訣。これは子どもに限ったことではありません。仕事でも家庭でも、すべての場において有効です。

大人になると、ぎくしゃくすることは頻繁にあります。

環境も価値観も考え方も違う人たちの集まりである以上、意見が食い違ったり、誤解が生じてトラブルになることは珍しくありません。

「じっくり話し合えば、ちゃんとわかり合える」というのは、僕の見たところ、残念ながら理想論。どちらかが妥協したり、お互いがちょっと意見を曲げたりして合わせているだけで、100パーセントの解決などありえないのが現実です。

あげくの果てに(注)「話しても無駄だし、また同じことの繰り返しか」とうんざりし、コミュニケーションをあきらめてしまう——ほうっておくこんな事態に陥ることも、珍しくはありません。

それでもコミュニケーションをあきらめたくないと思ったとき、僕はこの秘訣を思い出しました。いくら意見が食い違っても、どんなにトラブルが燃え上がっても、必ず相手の目を見て話をするということ。

考え方がまるで合わず、最後まで言い分は平行線をたどるような議論でも、相手の目を見て話し続ければ、不思議なことに相手に尊敬の念が湧いてきます。

たとえ「この人の言っていることは、間違っている！」と思っていっても、相手の目を見て聞いていれば、「その人の人間性」に対しては、別の気持ちを抱くようになります。意見は認められなくても、人としては認められるということです。

言い合っても目と目を見つめ合っていれば、不思議な一体感すら生まれます。結果として解決には到らなくても、悪い方向には向かわない。これだけは、何度も試した僕の保証つきです。

疲れていたり、へこんでいたりすると、人は目を見て話すことができません。そして下を向いていればいるほど、良くない事態が悪化します。

さあ、洗い物をしながら大事な話をするのはやめましょう。パソコンから顔を上げて、まっすぐ目を見て話しましょう。

理解できない相手でも、受け入れられない相手でも、この秘訣を知っていれば、②何か別の関係が生まれるはずです。

(松浦弥太郎『あたらしいあたりまえ。一暮らしのなかの工夫と発見ノート2』による)

(注) あげくの果てに：結局

65、子どもは、①「ごちそうさま」を言うようにはならないとあるが、なぜか。

- 1) 親が手本を見せないとわからないから
- 2) 親がやかましく言うとかえって逆効果になるから
- 3) その言葉を言うことが習慣になっていないから
- 4) その言葉が必要だという親の気持ちが伝わらないから

66、大人同士の人間関係について、筆者はどのように述べているか。

- 1) 話し合いを重ねても、お互いを理解できないことがある。
- 2) お互いを理解するためには、最後まで議論することが必要だ。
- 3) 話し合いの場で誤解をなくすには、お互いが妥協しなければならない。
- 4) コミュニケーションをあきらめると、トラブルになることも珍しくない。

67、②何か別の関係が生まれるとあるが、どういうことか。

- 1) 相手の人間性を認めるようになる。
- 2) 相手の意見を容認できるようになる。
- 3) 相手の態度を受け入れるようになる。
- 4) 相手の価値観を理解できるようになる。

68、この文章で筆者が言いたいことは何か。

- 1) 問題を解決するためには、相手の目を見て理解できるまで話し合えばいい。
- 2) コミュニケーションのためには、相手の目を見て話すことが大切である。
- 3) 相手に誤解されないためには、目を見てコミュニケーションをすればいい。
- 4) 自分を理解してもらうには、目を見て繰り返し話すことが大切である。

問題13 右のページは、ある農園の案内である。下の問いに対する答えとして最もよいものを、1・2・3・4から一つ選びなさい。(2*2)

69、ムディさんは、市民農園を借りたいと考えている。作る野菜は自分で決めたいが、農作業の経験がないので作り方を教えてほしいと思っている。ムディさんはどの農園を借りたらよいか。

- 1) ① 2) ② 3) ③ 4) ④

70、原口市の市民農園を借りる際に、留意しなければならないことはどれか。

- 1) 原口市に住んでいる人しか借りることができない。
- 2) 同じ農園を3年以上連続して借りなければならない。
- 3) 自分で農具を準備しなければならない農園がある。
- 4) 早く応募しないと希望の農園が借りられないことがある。

原口市市民農園 利用者募集案内

市民農園は、小面積の土地を利用して野菜や花作りを楽しむための貸し農園です。野菜や花作りに興味はあるけれど育てる場所がないといった方々は、市民農園を利用してみませんか。

「対象者」 原口市内にお住まいの人または市内にお勤めの人

「利用時間」 2014年4月～2015年3月（最長3年間の継続利用が可能）

「農園の場所・特徴・料金」 今回募集する農園は以下の4か所です。

	場所	特徴	料金、年
1	原口市東山	指導を受けながら、共同で楽しく野菜や花の栽培ができます（栽培する野菜や花は、農園によってきめられています）。必要な種、苗、農具などは準備してあります。	8000円
2	原口市西川	10mを個人で借りて、気軽に野菜や花の栽培が楽しめます。必要に応じて栽培指導をうけられます。種、苗などは各自で準備してください。農具は貸し出します。	5000円
3	原口市三田	10mを個人で借りて、自由に野菜や花の栽培が楽しめます。種、苗、必要な農具は、各自で準備して下さい。	3000円
4	原口市池沢	50m以上を個人で借りて、じっくり野菜や花の栽培が楽しめます。種、苗、必要な農具は、各自で準備して下さい。農業用大型機械の貸し出しを行っております。	5000円

123は市街地に近い、比較的に利用しやすい場所にあります。4は豊かな自然に囲まれた郊外にあります。34では栽培指導は行っていません。

「応募方法」 往復はがきに、1 利用を希望する農園の場所、2 利用者の名前、住所、電話番号を記入し、市役所市民課市民農園係宛に送ってください。希望者が多い場合は抽選になります。

「応募締切」 2014年3月2日（当日消印有効）

「問い合わせ先」 原口市役所市民課市民農園係 電話：031（389）6930

第三部分 聴解

問題Ⅰ

問題Ⅰでは、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、問題用紙のⅠからⅣの中から、最もよいものを一つ選んでください。(2*6)

Ⅰ番

- Ⅰ 掲示板に張り紙を貼る
- Ⅱ 隣の人に苦情を言いに行く
- Ⅲ 管理人に相談する
- Ⅳ 隣の人に手紙を書く

Ⅱ番

- Ⅰ キャッチフレーズの位置を変更する
- Ⅱ 新商品のキャッチフレーズを考える
- Ⅲ 写真の説明文を書き直す
- Ⅳ 写真を大きくする

Ⅲ番

- Ⅰ 会計の係り
- Ⅱ 店の係り
- Ⅲ ステージの係り
- Ⅳ 広報の係り

Ⅳ番

- Ⅰ 参加者をグループに分ける
- Ⅱ 参加者にメールで経験の有無を聞く
- Ⅲ 参加者に資料代について連絡する
- Ⅳ 参加者への資料をコピーする

Ⅴ番

- Ⅰ 病院の予約をする
- Ⅱ 人事課に申請書を出す
- Ⅲ 利用者登録をする
- Ⅳ 人事課に受診可能な日を連絡する

Ⅵ番

- Ⅰ 調査結果を分析する
- Ⅱ 容器について調べる
- Ⅲ 弁当に入れるおかずを考える
- Ⅳ 価格を検討する

問題2

問題2では、まず質問を聞いてください。そのあと、問題用紙のせんたくしを読んでください。読む時間があります。それから話を聞いて、問題用紙の1から4の中から、最もよいものを一つ選んでください。(1*7)

1番

- 1 子どもの頃の思い出が詰まったもの
- 2 人からもらったもの
- 3 思い切って買った高額のもの
- 4 いつか使うかもしれないと思うもの

2番

- 1 配布資料が分かりにくかったこと
- 2 声が小さくて聞き取りにくかったこと
- 3 動画を効果的に使えていなかったこと
- 4 説明に説得力がなかったこと

3番

- 1 自然に囲まれた生活をするため
- 2 実家で農業を手伝うため
- 3 会社を作るため
- 4 家族と過ごす時間を増やすため

4番

- 1 都心へのアクセスが便利なところ
- 2 街の雰囲気がおしゃれなところ
- 3 最先端の流行を発信しているところ
- 4 古さと新しさが共存しているところ

5番

- 1 運営に参加する人が少なくなったから
- 2 店員が客とトラブルを起こしたから
- 3 売上が悪くて赤字が続いたから
- 4 大学からの支援が打ち切られたから

6番

- 1 多様な文化を理解し、リーダーシップのある人
- 2 語学力に優れ、外国語で議論ができる人
- 3 海外経験が豊富で、チームワークを重視する人
- 4 積極的に意見を述べ、職場を明るくできる人

7番

- 1 安定的に収穫できるようにすること
- 2 野菜の安全性を確保すること
- 3 施設の維持費用を削減すること
- 4 野菜の種類を増やすこと

問題3

問題3では、問題用紙に何も印刷されていません。この問題は、全体としてどんな内容かを聞く問題です。話の前に質問はありません。まず話を聞いてください。それから、しつもとせんたくしを聞いて、1から4の中から最もよいものを一つ選んでください。
(2*6)

1 番	2 番	3 番	4 番	5 番	6 番

—メモ—

問題4

問題4では、問題用紙に何も印刷されていません。まず文を聞いてください。それから、それに対する返事を聞いて、1～3の中から最もよいものを一つ選んでください。
(1*14)

1 番	2 番	3 番	4 番	5 番	6 番	7 番
8 番	9 番	10 番	11 番	12 番	13 番	14 番

—メモ—

問題5

問題5では長めの話を聞きます。

この問題には練習はありません。メモをとってもかまいません。(3*4)

1 番、2 番

問題用紙に何も印刷されていません。まず話を聞いてください。それから、質問とせんたくしを聞いて、1から4の中から、最もよいものを一つ選んでください。

1 番

2 番

—メモ—

3 番

まず話を聞いてください。それから、二つの質問を聞いて、それぞれ問題用紙の1から4の中から、最もよいものを一つ選んでください。

質問 1

1きそゼミナール1 2きそゼミナール2 3きそゼミナール3 4きそゼミナール

質問 2

1きそゼミナール1 2きそゼミナール2 3きそゼミナール3 4きそゼミナール

2013 年 12 月日语能力测试 N1 答案

第一部分			
1-6	7-13	14-19	20-25
431312	3412132	114232	414134
26-35	36-40	41-45	
41132 33142	14231	23124	
排序题答案：			
36→3142 37→1342 38→4123 39→2431 40→2314			

第二部分			
46-49	50-58	59-62	63-64
1142	434 131 323	4422	23
65-68	69-70		
4112	23		

第三部分		
问题 1	问题 2	问题 3
334232	2134114	33241
问题 4		问题 5
31233 113212 312		1313